

ボート、カヌー、板合せを使用した  
通船川清掃、親水活動報告 2009



2009年 12月

特定非営利活動法人 新潟水辺の会

代表世話人 大熊 孝

新潟市地域活動費補助金を受けて実施しています。

## 通船川再生に向けて 2009

通船川再生の活動として始めたボートを使った川清掃も3年目となり、当会の日常活動として定着しつつあることを実感しています。山ノ下閘門から津島屋閘門まで6.5Kmの間の清掃は4月から12月までの9回で、浮きごみに関しては十分と感じています。東区の広報の結果、清掃活動に若干の新人参加がありこれからの活動に自信を深めています。川の中から街と川のごみの状態そして川の汚染を知ること、川の現実を考えるきっかけとしてもらいたいと考えています。川掃除と並んで進めたい活動に通船川親水活動があります。これは万代高校との合同事業として構想し、今年から実験的に始めるもので河口の森からカヌー、小板合せで第一貯木場、第二貯木場往復を行うもので周辺住民の親子、夫婦などの組み合わせで漕ぎを楽しみながら通船川の現状を知ってもらう取り組みとして構想しています。川清掃と川遊びの日常的な風景が通船川で定着することが通船川再生の大きな力となると考えています。

この川遊びとは別に住民の親水活動支援として年に1回、栗の木川の桜祭り、通船川の松崎地区の住民の親水川遊び支援のために乗船試乗に大板合せを使用して行っています。栗の木川の桜祭りへの支援はすでに5年目となり、栗の木川の定例事業として定着しています。



通船川案内図

河口の森： 通船川清掃ボートの基地、緑地

第一、第二貯木場： ペニア板製造用丸太筏を浮かせている木場

山ノ下閘門、津島屋閘門： 地盤沈下で東区一帯の自然排水が出来なくなった事から通船川の水位をポンプで強制排水して下げ、流域排水と舟の通過と両立させている施設。

栗の木川： 新潟市東区、江南区の田圃、都市排水路

## 通船川清掃 4月（4月11日）

参加人員 会員6名プラス万代高校カヌー部20人

清掃場所 第一貯木場、河口の森の水面、周辺



第一貯木場、今年初めての川清掃。  
河川区域に広がった筏で河川区域を通過できません。  
相変わらずの反省の無い姿勢に河川管理者、占用者に河川占用の体制に異議をいうことにしました。



今回は筏の上のゴミは少なく、若干のゴミの回収だけとなりました。



河口の森のゴミを合わせて確認写真。



この日は万代高校カヌー部も清掃参加して賑やかな川清掃になりました。カヌーで川面のゴミ拾い。

これからカヌー部と住民とで川遊びを計画しています。



カヌー部員の確認写真。



山ノ下閘門付近で練習する万代高校カヌー部。この場所の水質改善がこれからの課題です。

## 栗の木川桜祭り川舟試乗体験（4月12日）

参加人員 200名

栗の木川 船着場



今年5回目の桜祭り川舟試乗体験。近所の小学生、高齢者など多数の参加がありました。舟は復元板合せ（田舟）。



万代高校カヌー部も協働参加し、若者のエネルギーを感じました。川再生にこの要素をどう取り込めるかもこれからの課題です。



川掃除舟もゴミの代わりに子供達を乗せて緊張のし通しでした。

## 通船川清掃 5月（5月9日）

参加人員 6名

清掃場所 第一貯木場



5月の好天の下、今回は木材倉庫（株）の職員1名の参加があり、昨年来の川岸の浮きゴミ、水面に広がった水草の回収を行いました。



木材倉庫の石山さん、さすが本職の仕事振りに感激。水草の筏上げをしてもらいました。後日、乾燥させてから回収予定。



川岸近くの浮きゴミ、タイヤ、など回収。筏の廻りのゴミがいかにかわがわかります。

## 通船川清掃 6月(6月13日)

参加人員 4名

清掃場所 第二貯木場上流部



第一貯木場の条件が悪く、今回は第二貯木場上流部に移動。初参加の新人を含め4人で実施。葦群落の中のペットボトル、空缶の回収を行いました。



少雨の中、柳下の不法投棄物回収  
滑りやすい甲板上バランスに注意。  
今回初登場の大綱、大活躍。



雨の中、皆さんありがとう。回収  
ゴミは若干少なめですが川へ落ち  
るハプニングがあり大変でした。

## 通船川清掃 7月(7月11日)

参加人員 4名

清掃場所 第一貯木場



安田さん、浅井さんは第一貯木場で筏の上のごみ回収。写真のように木材ゴミも大変多い。この処分をどうするか検討する必要があります。



森山さんと横山は津島屋閘門から川下り清掃。岸に降りて葦群落の中のごみ回収。



今日は暑くて堪らん。顎が出ます。後ろの桜も大きくなりました。





清掃の後日、ごみ置き場を河口の森に製作しました。



河口の森で見かけるようになった弁慶蟹。親水堤防の結果と感謝しています。



河口の森で見かけた銭葵。  
立葵の花畑もこれから計画したい。

通船川清掃 8月(8月8日)

参加人員 6名

清掃場所 第一貯木場



第一貯木場のごみの回収も進み  
だいぶ川面もきれいになってきた  
かな? それにしても暑い。



第一貯木場は浮きごみの他、筏の  
くず、皮などが多く、これらの  
ごみ回収は占用者の義務ではな  
いかと思います。



大網の性能は素晴らしい。どんな  
浮きごみも回収できます。



東区広報の女史の取材があり、  
お手伝いをしてもらいました。



今回、初参加の新人。これからも  
参加していただくとありがたい。



やぶ蚊来襲の中、確認写真。今  
月回収量はごみ袋 88 個。過去  
最大量でした。ゴミ箱からあふ  
れんばかりになりました。

## 通船川親水活動（8月15日）

参加人員 40名

活動場所 松崎ニュータウン



乗船受付。ライフジャケット装着確認。

使用舟、板合せ1艇、カヤック1艇、救助ボート1艇。



板合せに乗船し、川遊びに出発。  
後ろのボートは救助船。



松崎ニュータウンの子供達の川遊び。初めての経験です。当会の松野さん、腰を痛めながらも頑張っています。



初めてのカヤック漕ぎ。慣れないこともあり浮かんでいるだけ。



船頭交代。板合せが漕げるようになるには場数が必要です。新たな船頭募集中。『ねり漕ぎ櫓』製作中。

『ねり漕ぎ櫓』、舟の脇でねりながら漕ぐ9尺の櫓。



また来年も一緒に遊ぼう。来年はもっと多くのカヌーを持ってきたいと思います。

## 通船川清掃 9月(9月12日)

参加人員 4名

清掃場所 第二貯木場から川下り清掃



少雨の中での清掃作業。  
第二貯木場下流部、廃棄自転車  
回収しました。全員雨具着用で  
川清掃作業が板に付いてきました。



第一貯木場河川区域の筏上の清  
掃。最近第一貯木場のゴミが減少  
していると感じています。  
明らかに業者さんが清掃作業を  
実施しているようです。これをど  
う制度化できるかが課題です。



雨の中の作業でした。頼りになる  
3名です。

## 通船川清掃 10月(10月10日)

参加人員 4名

清掃場所 松崎橋下流部



久しぶりの松崎地区  
川の中にあったドラム缶を回収。  
中の水を少しずつ抜いて持ち上げ、やっと舟の上に。



海老ガ瀬排水路下は流下ゴミが多く、いつも大量のゴミが回収できます。またここには弁慶蟹が多い。人がいないと蟹が増える。



ドラム缶、浮きゴミ、第一貯木場の木材屑を合わせてゴミ箱へ。

**通船川親水堤防葛伐採、薬殺作業 9月～10月不定期**

参加人員 2人～5人

作業場所 ポンプ場脇左岸、焼島橋上流左岸



通船川最下流部左岸。葛の繁茂が猫柳、桜を押しつぶしています。



道路側の葛の繁茂状況



川掃除後、葛伐採を継続。





川側、堤防斜面半分ほど伐採。



道路側伐採完了。



川側斜面伐採完了。  
水際は猫柳、パイプ杭はリンコーの残置杭。

## 通船川清掃 11月(11月14日)

参加人員 4名

清掃場所 第二貯木場付近



久しぶりの第二貯木場。大量のゴミに嬉しくなりました。掃除の甲斐があるというものです。手馴れた網捌きです。



第一貯木場から河口の森まで流れ着いた丸太をチェーンソーで切断、ゴミとして回収しました。産業廃棄物と判断します。



雨の中の作業、感謝！感謝！でした。木材屑が多く、川使用者の川清掃制度化を現実の日程に上げる必要を感じています。

## 通船川清掃 12月(12月12日)

参加人員 6名

清掃場所 松崎、大形地区



松崎、大形地区。海老が瀬排水路下流部、葦群落の中のごみ拾い。ここは何度もやっていますがその度に多くのごみが回収できません。海老が瀬排水路にスクリーンの設置を土地改良をお願いしたい。



全員での回収状況。



今年最後の確認写真。ゴミ袋50個を回収しました。来年は今年の課題を克服し、新たな展開を目指したい。

## 1 通船川清掃・親水活動の成果と集計

清掃日 活動日 時間 A M 9:00 ~ 12:00	天気	参加人員	清掃場所	ゴミ収集成果	使用舟
4月11日	晴れ	6人 万代高校20人	河口の森 第一貯木場	ゴミ袋80 タイヤ1	かもめ丸
4月12日 親水活動 桜まつり	晴れ	10名 万代高校15名 住民子供200名	栗の木川船着場		かもめ丸 カヌー1艇 板合せ1艇
5月9日	晴れ	5人 木材倉庫1人	第一貯木場	ゴミ袋50 タイヤ1	かもめ丸 清流回復1
6月13日	雨	4人	第二貯木場~ 薬師橋	ゴミ袋30	清流回復1
7月11日	晴れ	4人	第一貯木場	ゴミ袋40 タイヤ1	かもめ丸
8月8日	曇り	6人	第一貯木場	ゴミ袋88	かもめ丸 清秋回復1
8月15日 親水活動	曇り	5人 住民子供40人	新松崎、大形地内	ゴミ袋10	清流回復1 板合せ1 カヤック1
9月12日	少雨	4名	第二貯木場から川 下り清掃	ゴミ袋30 廃棄自転車	かもめ丸
9月~10月 葛伐採、薬殺		延べ12人	通船川最下流左岸	伐採面積 6m×80m ゴミ袋2	
10月10日	少雨	4人	松崎、大形地区	ゴミ袋20 木材屑 廃棄ドラム缶	かもめ丸
11月14日	雨	4人	第二貯木場	ゴミ袋50 木材屑 タイヤ1	かもめ丸
12月12日	曇り	6人	海老が瀬、松崎	ゴミ袋50	かもめ丸 清流回復1
集計		川掃除68人 親水15人 葛伐採12人 親水活動参加 者240人		ゴミ袋450 タイヤ4 自転車1 ドラム缶1 木材屑相当量	

昨年と比較すると参加人員、回収量共増加しています。この程度で来年も実施できれば川清掃・川親水活動は名実ともに通船川再生要素として認知されると思います。



『第一貯木場河川区域』

当会が川清掃を始めて河川区域に航行可能な舟道ができました。これは地域振興事務所が業者を指導した結果と聞いています。しかしこの状態は業者が河川占有をしている図面の通りで当然のことであり、川利用再考の出発点に過ぎません。公共水域利用の社会合意をどう展開するかがこれからの課題です。

## 2 活動場所確認



今年のごみの多かった第一貯木場を中心に下流部を重点的に実施したことがわかります。川ごみ密度の低減と川利用の社会合意醸成に寄与するため今後共この傾向は続くと予想しています。

### 3 川畑と河畔林



通船橋より焼島橋間右岸

川利用の公共性を考える資料として焼島橋と通船橋間右岸の川畑を上げておきたい。この河川区域の堤防上に歩道が作られました。その竣工後間もなく歩道の両脇に従来からあった畑が出来ています。これをどう解決するべきなのかもこれからの課題です。ちなみに手前のクヌギは河畔林として5年前に植えたものです。最近畑に影を落とすという理由からか切られてしまうことがありました。



焼島橋下右岸

河川区域の川畑は公共物の私物化であるともいえます。川をどのように取扱うべきかという公共物の利用についての社会合意（川への排水、川畑、筏、舟の係留、魚釣り）を深化できなか

った私達の責任が大きいと感じています。川利用の社会合意がこれからの課題です。

#### 4 川清掃・親水活動の感想 2009 と今後の課題

3年目の川清掃の成果で特筆すべきことが三つありました。

一つは新たな近隣住民の参加が二人あったことです。6月から一人、8月から二人となり今や川清掃に欠かせない人材となっています。その参加動機は東区の広報によって川清掃を知り、参加することにしたというものでした。今年から東区の企画係に川清掃のお知らせをお願いしてきた結果です。予想通りの二人の新人参加です。この結果が多いのか少ないのかの評価をするつもりはありません。川清掃などという馬鹿なことに付き合おうとするのはよほどの人格者と考えるほかありません。いずれにしろこの機会に深く感謝の意を表すものです。更に地元の新人を発掘し常時6~8人、2艇体制を組み、川清掃をより迫力と説得力のあるものにしてゆきたいと考えています。

二つ目は万代高校端艇部と木材倉庫の川清掃参加がありました。万代高校は4月の一回、木材倉庫は5月の一人だけの自主参加でしたが川清掃に川使用者が参加することは例え言い訳程度から始まったものであれこれを発展、継続してゆくための環境作りが重要です。

三つ目のトピックスは木材倉庫、リンコーとの直接的な関係が緊張感を持ちつつ始まったことです。今年の7月、始めて当会と木材倉庫との川の使用をめぐる緊張感のある意見の交換がありました。この問題は川の公共性と川使用を巡る合意をどのような形で落ち着かせるかという通船川利用の転換の始まりといえるものです。川をどう利用することが川の公共性を維持することになるのか、そして川再生のための『官・業・民』合意の枠組みをどのように作るのかは避けては通れない課題です。この課題の端緒についてを参加者と共に喜びたい。

川親水活動は今年初めて通船川脇の新松崎住民、子供達と実施しました。新松崎では初めての経験でした。この活動を毎年の定例活動として継続してゆきたいと思います。川親水活動の新展開も今後の課題です。

『来年のことを話すと鬼が笑う』といえます。助成金の成否次第ですが新たに実施したい項目を上げておきます。

- 1 12人乗りボート取得による小阿賀野川カヌー下りと4河川回遊試行。
- 2 河口の森のカヌー艇庫建設、カヌーの取得とカヌー親水活動の実施。
- 3 再来年の企画として近江八幡から櫓漕ぎ屋根付和船導入と収益事業試行。

と盛りだくさんですが来年この内一つでも実現できれば上出来でしょう。全部失敗したら御免なさいです。私の非力を笑ってください。

また通船川・栗の木川の水質汚濁限度を定めている河川類型指定改善の社会合意を行うための『通船川、栗の木川水質改善計画(案)』を構想中です。これは望ましい通船川・栗の木川の水質限度を未処理の生活排水流入、工場排水流入を含め、新たに社会合意するために議論の叩き台とするために構想しています。川管理の地域主権が課題です。

なお、本活動は新潟市地域活動費補助金の支援を得て実施しました。今後ご支援と適切な助言をお願い致します。

通船川清掃世話人 横山 通 2009/12/12

